



がよくなかったそうです。

その後、越後三条に布教されて、なかなか道がつかない（教会布教が根付かない）で甘木教会に参拝してこられたときに、初代から「おかげばかりやって…」と、また同じ言葉を頂かれたそうです。

「信心はおかげ目的ではない」と教えられています。また「目先目先のおかげでは末の安心は頂かれない」とも教えられています。

初代の『教語』（『安武松太郎語』）の、

…金光大神様の道の信心は、拜むだけでは信心とはいえません。その拜む心がどこにあるかが問題であります。願うおかげを目的に拜むのであるとするならば、**信心する人の真の信心なきこと**とお戒め給うとおりであります。（『安武松太郎教』 題「一六二頁」）

わが道の信心はお願いのためにするのではない。心からのお礼を申し上げ、喜びの心を神様に向けてご神慮を安め奉るのが**信心は親に孝行するも同じこと**とのみ教えに添い奉ることだと思います。

**信心する人の真の神徳を知らぬことと神戒め神諭し給いました**が、しんのおかけを頂きうる本は、**真実なるご神慮を悟りえてしんに喜び奉ればすくにみかけの始めとなつて、真の神徳を悟りうる**ことができると思います。（『安武松太郎教』 題「一六八頁」）

このみ教えをもとにして、ご教話下さいました。



ご教話中のお広前



ご教話後、境内にて



**甘木親教会  
布教記念祭奉祝  
バレーボール大会**

五月四日に開催されました甘木親教会「布教記念祭奉祝バレーボール大会」に「南九州連合チーム」として参加させていただきました。

このバレーボール大会には、甘木教会の出家・関係教会から例年三〇〇〜四〇チーム、四〇〇〜五〇〇名の選手・応援者の参加があります。

今年も、甘木教会の体育館と、市内二か所の体育館を借りて、三か所に分かれての試合が行われました。



「南九州連合チーム」は、人吉教会・宮之城教会・国東教会・加治木教会からの参加者で構成されることとなり、Dリーグ（今年は一リーグに七〜八チームで、AからDまでの四リーグ）で対戦することとなり、甘木教会の体育館で試合が行われました。



- 今年の南九州連合チーム→
- 上田和也さん(加治木)
  - 大武来夢くん(国東)
  - 安武光太郎先生(人吉)
  - 林先生(山鹿)
  - 大武幹生さん(国東)
  - 大武真子先生(国東)
  - 田中隆一郎先生(蘇陽)
  - 安武光江先生(人吉)
  - 大武緑夢くん(国東)
  - 矢野章先生(加治木)
  - 松井信継先生(宮之城)
  - 大武真夢ちゃん(国東)

甘木教会にご縁のある信奉者が、バレーボールを通して、健康の御礼を現し、お道の発展を祈り、お互いの親交を深めさせていただきました。  
加治木教会からの参加者は、二名でした。

まだまだ、甘木親教会「布教記念祭奉祝バレーボール大会」開催の願いが、加治木教会の信奉者一同に伝わりきれていないようでもあります。  
去年は六名でした。来年は、今年以上に信心を進め、おかげを蒙らせていただきたいと思います。



# 若婦人会 装束たたみ練習

五月二十一日(木)若婦人会が開かれ、御大祭時、参列される先生方の祭服や袴のたたみ方を詳しく知らないことと、これまで勉強する機会がなかったこともあり、祭服や袴・白衣・襦袢などのたたみ方を勉強しました。御本部では、岡山県下の御婦人の信奉者のみなさんがお手伝い下さり良い御用ができる方がありました。

いろいろ尋ねてみますと、着付けの方法やたたみ方を勉強してあることを伺いましたので、ぜひとも加治木教会でも勉強会をして、御大祭の御用が安心してできるようお願いを蒙らせていただきたく実施することにしました。



## 雑感

(教員)

ある先生が、戦後間もない頃ある地方で「皆で国家の再建」に取組むことが急務」というお話をされたこと、自分の生活に困ることの多い時代で「そんなことは誰かがするだろう」という風潮の多い中に、ある女の子が「国家の再建は私がします」と発言したこと、大いに感心されたという話を幾度も聴かせていただいたことがあります。

○ そのようなへあれば、だれかがするだろうとかが得意な人がすればいいかと判断して、人にまかせてしまうことがないとはいえません。

だれかにまかせざるより、進んでお役に立つ姿勢が大切です。

○ 「親切にします」「何とも真心で行います」という少年少女会員の「綱領」は、唱えるためだけにあるのではありません。

○ 「稽古は同じことの繰り返し」で、単調なこと、あたりまえなこと、つ

まらなくなりやすいものですが、その中にこもる深い意味合いや味わいがわかると、前向きに取り組めていくのかもしれない。

○ 稽古を重ね心眼を開きたいものです。お道の信心の稽古は、お話し(み教え)を聴くことです…。

○ 心眼を開くとは？あたりまえにしてしまっている、天地の大恩、即ち、命や衣食住万物…。

それをわかって、与えて下さる相手のあること、意志があること、願いがあること、与える物を作り出す苦勞のあることを知りたいものです。

○ もらっていることについて、喜びお礼を現わすへきことに気付き感謝していくと、与える相手は今までとはちがうメッセージを私たちに届けて下さるかも知れません。

○ 相手の「御立場」(おんたちは)に立った信心をさせていたいただきたいものです。

○ 「自分中心・自己中心の信心」から「親神様の御立場に立った信心」にならせていただきたいものです。

少年少女全国大会に向け(7月末まで)

# まごころ運動

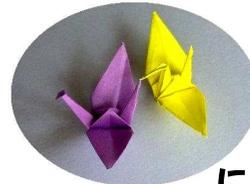
に取り組みましょう。

平和の折りづる

※古切手・古カード

えんぴつ(新)

を集めます。



▼換金後 海外の悪まれない子どもたちへ送られます。

## 使用済み切手収集についてのお願い

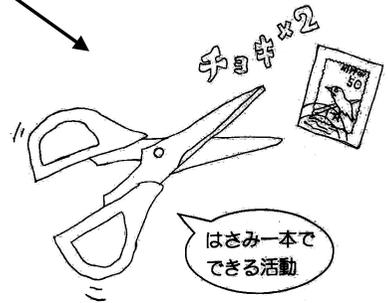
お願い

\*切手ははがさないで、以下の要領で切り取ってください。

\*切手の周囲を5mm程度あけて切り取ってください。

\*枚数を明記してお届けください。

\*外国切手や台紙からはがした切手がある場合は別にしてお届けください。

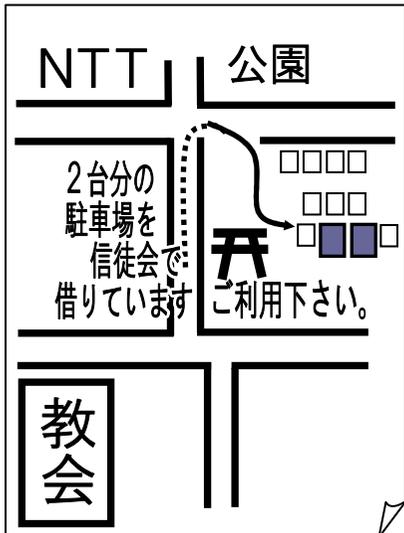


使用済み切手の収集は少年少女全国大会「まごころ運動」の取り組みのひとつです。

## ご霊神様のおまじり

六月

- 平地正巳 之霊神(1日)昭和20年
  - 前田 豊 之霊神(6日)昭和20年
  - 星原雅志 之霊神(11日)昭和56年
  - 最勝寺ヒサ之霊神(11日)平成11年
  - 大重為光 之霊神(20日)平成18年
  - 三反クニ子之霊神(24日)昭和21年
  - 平地フチエ之霊神(25日)昭和18年
  - 安武シケ清和大刀自之霊神(26日)昭和32年
  - 前田賢二 之霊神(27日)平成3年
  - 金竹フミ之霊神(27日)平成25年
  - 本中野米子 之霊神(30日)昭和62年
- 立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。



## あしあと

5月

加治木教会行事記録

- 1 (金) ●月例祭(報徳) 10時半
- 4 (祝) 甘木親教会バレーボール大会
- 5 (祝) 西鹿児島教会御大祭 12時
- 6 (休) 多良木教会御大祭 11時
- 9 (土) 斎掃御用 10時
- 10 (日) ●月例祭(主祭) 10時半
- 15 (木) 庄村家霊祭
- 17 (日) 鹿児島教会御大祭 11時
- 21 (木) 斎掃御用 10時
- 若婦人会 13時半
- 22 (金) ●月例祭・共励会 13時半
- 27 (水) 連...企画会議
- 30 (土) 御用奉仕
- 31 (日) 加治木教会御大祭

